FMトランスミッター DC
取り扱い説明書

このたびは、本製品をお求めいただきましてありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、必ず取り扱い説明書を最後までお読みください。

P237

お取り付け・ご使用の前に必ずお読みください

警告・注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。誤ったご使用は死亡事故などの原因となります。

⚠警告

●運転中の運転者による本製品や接続機器の操作は大変危険ですのでおやめください。●ご使用される前に、本製品がお車のアクセサリーソケットに奥まで確実に差し込まれているかご確認ください。また走行中も振動により本製品が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、本製品やお車のヒューズ、アクセサリーソケットなどの破損の原因になります。●一部の車種では、アクセサリーソケットが浅く接触不良を起こす場合があります。●本製品の取り付け、ご使用が困難な場合、または、運転の妨げになる場合は無理に取り付けたりしないでください。●本製品及び接続機器を運転操作、視界の妨げ、エアバッグ付近、エアバッグ作動の妨げになる場所でのご使用や放置はおやめください。●本製品は自動車専用です。●本製品の破損、故障、変形、コードの断線など不具合がある場合には、ご使用を中止してください。●煙が出る・焦げくさい臭いがする等、異常の兆候が見られる時は直ちにご使用をおやめください。●プラグに指定外の端子や金属を接触させたままのご使用はおやめください。●濡れた手でのご使用や水気及びホコリが付着したボックスにある全てのヒューズが破損した時は車のヒューズ、空冷ファンなど)に支障がないことを確認してください。また、車の機能(ヘッドライト、本製品および接続機器の故障、破損の原因になります。これらが起因する接続機器のトラブルに関して、当社は一切の責任を負いかねます。

⚠注意

●必ず車を安全な場所に停車してから機器の接続をおこなってください。●ご使用の前に、必ず接続機器のメモリ控えを取ってください。本製品ご使用による接続機器のメモリデータ破損や消失に関する責任は負いかねます。●本製品は無線局の免許を必要としない微弱電波を使用した製品です。アンテナの種類や形状/設置環境(車種およびアンテナが設置されている場所)/周囲環境(走行環境を含む)/混信などにより、本製品から出力されたFM電波をFMカーステレオなどが正常に受信できない状態になることがあります。その場合、ノイズ/音のひずみ/音の途切れ/受信不能状態などが発生する場合があります。●本製品は日本国内専用です。海外でFMトランスミッター機能を使用した場合、その国の法律などに抵触するおそれがあります。●ACコンセントのあるお車ではノイズが入る場合があります。●本製品を使用中にFMトランスミッター内蔵のテレビやカーナビを同時に使用すると、FMカーステレオからの音声にノイズが入る場合があります。その際にはテレビ内蔵のトランスミッターをOFFにしてからご使用ください。●モノラル音声(ポータブルプレーヤー等)はステレオ音声にはなりません。●本製品を使用する時は、お車のバッテリー保護のために必ずエンジンをかけた状態で使用してください。●キーを抜いてもアクセサリーソケットの電源がオフにならない車種は、バッテリー上がりのおそれがありますので、降車時に本製品をアクセサリーソケットから抜いてください。●本製品のご使用中によるメモリーダイヤルやデータの消失や破損、通信不能等の付随的保証は一切負いかねます。●コードを結んだり、乱暴にあつかわないでください。断線する場合があります。プラグを抜く場合もコードを引っ張って抜かないようにしてください。●設置場所や気象条件によって、音質が悪くなる場合があります。●設置場所により、車両や接続機器からのノイズが入ることがあります。その際は本製品の設置場所を変更してご使用ください。**●上記の警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。**

快適にご使用いただくために

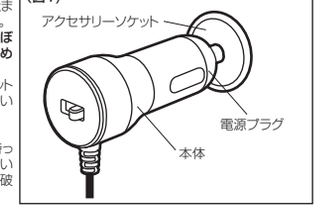
※屋根のある駐車場や道路トンネルの中では FM 電波を受信できない場合があります。

①**接続機器側の音量を最大に設定してください。**FMトランスミッターの場合、無線で音を飛ばすため音が小さくなる傾向があります。お車のFMカーステレオ側で音量調整することで、最適な音量でご使用いただけます。
②**お車の受信アンテナの長さや角度を調節してください。**設定する周波数によってアンテナの長さや角度を調節することで受信感度や音質が変わる場合があります。
③**本製品の差し込む向きを調節してください。**本製品を一度抜き、向きを変えて差すことで、受信感度が変わる場合があります。
④**本製品の設置場所を調節してください。**ご使用のお車のアンテナに近い場所で本製品を調整することで、受信感度が変わる場合があります。
⑤**ケーブルは伸ばした状態でご使用ください。**ケーブルを束ねた状態でご使用しますと、ケーブル内の電波が干渉し合い、ノイズが入る場合があります。
⑥**本製品のケーブルの配線を調整してください。**ケーブルの配線を調節することによって音質やノイズが改善される場合があります。

1.本製品をアクセサリーソケットに差し込む

●エンジンOFFの状態で、お車のアクセサリーソケット内のゴミ、ホコリ、灰等をよく取り除いてください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
●本製品ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるので、本製品を差し込む前にあらかじめお車のエンジンをかけてください。
●本製品の電源プラグ部分をお車のアクセサリーソケットに差し込んでください。振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり差し込んでください。(図1)
●通電するとLEDが光ります。
※脱着する際には、必ず電源プラグの根元をしっかり持ってアクセサリーソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして、無理に抜くと破損の原因になります。

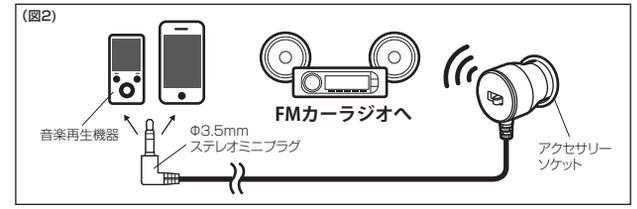
(図1)



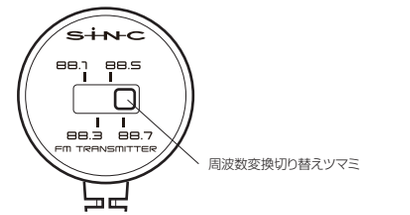
2. 音楽再生機器との接続

※必ず車を安全な場所に停車してから、機器の接続をおこなってください。
●音楽再生機器(接続機器)のステレオイヤホンミニジャックに本製品のφ3.5mm ステレオミニプラグをしっかり差し込んでください。(図 2)

(図2)



3.本製品とFMカーラジオの設定をする

●周波数変換切り替えツマミを動かし、地域のFM局に干渉しない周波数を選んでください。(図3)
※88.1/88.3/88.5/88.7MHzの4種類以外の周波数は選べません。
※FMカーラジオの設定についてはお車の取り扱い説明書にてご確認ください。
※お車の移動先によっては、地域のFM放送の影響を受ける場合があります。その際は、設定した以外の他の3種類の周波数に設定を切り替えてください。
●FMカーラジオのラジオ周波数(MHz)を、先ほど選んだ本製品の周波数に合わせてください。
※車側でも、受信チャンネルをメモリーしておけば次回使用するときに便利です。
●接続機器の電源を入れて、音楽を再生してください。
●接続機器はボリュームを最大にし、FMカーステレオのボリュームを最適な音量に調整してください。
※ノイズが入る場合には、周波数を切り替えてください。
※エンジンを切っても接続機器の電源はOFF(演奏停止)にはなりません。車から離れる場合は必ず接続した機器の再生を停止するか、電源を切ってください。
※使用しない時は、本製品をアクセサリーソケットから引き抜いてください。

(図3)